



まだ誰も知らない安心を、ともに。

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社

〒150-8488 東京都渋谷区恵比寿 1-28-1

www.aioinissaydowa.co.jp

神戸関西圏電池リユース・リサイクル協議会へ参画

2021年12月27日

MS&ADインシュアランスグループのあいおいニッセイ同和損害保険株式会社(代表取締役社長:金杉恭三)は、12月13日に発足した関西圏・神戸市における蓄電池の利活用及び新しい電池需要の創出と産業化を目指す「神戸関西圏電池リユース・リサイクル協議会」(以下、本協議会)に参画しましたので、お知らせします。

1. 参画の背景・目的

世界中でカーボンニュートラル・脱炭素社会実現に向けた取組みが加速する中、当社はこれまで「車両の電動化」を重要なキーワードの一つと位置づけ、EVなどの先進環境対策車を対象とした自動車保険の割引制度や電動車向けの保険商品・サービスの検討に取り組んできました。

さらに当社は「車両の電動化」を契機とした産業変革を見据えた取組みも進めており、その一環として電池のリユース・リサイクルビジネスモデル構築への貢献を目指しています。こうした背景から、当社は本協議会の目指す趣旨に賛同し、本協議会に参画しました。

2. 「神戸関西圏電池リユースリサイクル協議会」の概要

蓄電池の利活用に取り組む事業者・団体 25 者(下記に記載)は、関西圏・神戸市における蓄電池の利活用及び新しい電池需要の創出と産業化のため神戸関西圏電池リユース・リサイクル協議会(略称「ReBaaS※協議会」。以下、「本協議会」)を設立しました。持続的成長が可能な蓄電池の循環型産業プラットフォームの構築を目指して、事業基盤の形成を推進致します。

※5つの「Re」(Rebirth、Resilience、Revalue、Relation、Recovery)を軸とした BaaS (Battery as a Service: 電池産業 2.0) 推進を目指すことを表しています。

<設立時会員、50音・アルファベット順>

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社、川崎重工業株式会社、関西電力株式会社、神戸市、株式会社コベルコ科研、国立研究開発法人産業技術総合研究所、株式会社GSユアサ、公益財団法人新産業創造研究機構、住友化学株式会社、一般財団法人電気安全環境研究所、東京大学先端科学技術研究センター杉山研究室、トヨタ自動車株式会社(◎)、株式会社豊田中央研究所、豊田通商株式会社、株式会社日本政策投資銀行、株式会社日本経済研究所(※)、公益社団法人兵庫工業会、プライムアースEVエナジー株式会社、プライムプラネットエナジー&ソリューションズ株式会社、三菱商事株式会社、三菱電機株式会社、明和産業株式会社、株式会社リチウムエナジージャパン、株式会社JERA(◎)、NTTアノードエナジー株式会社

◎: 幹事、※: 事務局

<本協議会設立の背景及び目的>

本協議会は、神戸市の呼びかけにより、主たる実証を行う電池資源循環プラットフォームを構築することで、蓄電池の系統連系評価や、蓄電池へのリサイクル技術活用等の実証事業等を推進し、カーボンフリー電源や水素燃料電池等と組み合わせたエネルギーマネジメントの高度化に寄与することにより、以てSDGsやカーボンニュートラルに呼応した新たな電池需要の創出と産業化に寄与することを目的とする。

<本協議会設立の活動内容>

本協議会では、循環型産業プラットフォームの構築を目指して、以下の活動に取り組んでいきます。

- ① 各種実証実験
- ② 国や地方公共団体への政策提言、支援要請
- ③ その他、本協議会の目的を達成するために必要な活動

3. 当社の役割

当社が保有する地球 91 万周、累計 366 億キロメートルもの走行データ※2 や、強みを持つ保証領域での知見・ノウハウを活かし、電池のリユース・リサイクルビジネスモデル構築への貢献を目指します。

※2 2021 年 9 月末時点

4. 今後の展開

当社は本協議会への参画を通じて電池のリユース・リサイクルに関する知見を得ながら、リユース電池を安全・安心に利活用できる仕組みづくりを支援します。また、「CSV×DX（シーエスブイバイディーエックス）」を基軸とする商品・サービス開発をすすめ、カーボンニュートラル・脱炭素社会の実現や電動車普及・拡大への貢献を目指します。

以上

当社は、社会との共通価値を創造し、目指す社会像である「レジリエントでサステナブルな社会」を実現するため、SDGs（持続可能な開発目標）を道しるべとし、地域の皆さまに貢献する活動を行ってまいります。



当社は、「特色ある個性豊かな会社の確立」を掲げ、行動指針である「地域密着」を追求するとともに、お客さま・地域・社会とともにリスクを削減し、社会・地域課題解決に資する商品・サービスをご提供しております。この考え方・コンセプトを「CSV×DX」（シーエスブイバイディーエックス）というキーワードのもと展開し、幅広い商品・サービスで実現していきます。

